

じゃんぷ!

始業式で職員たちによるお正月遊びの紹介を子供たちは見ると、さっそくお部屋の中でも遊ぶ姿が見られたので2つ紹介させていただきます。



①紐コマ回し

コマに紐を巻くのが難しかったり、コマを回す時の紐の引っ張り方にコツがあったりするなど、紐コマ回しは一度やるだけではなかなか技を習得することができません。しかし、さすがなつめ組。うまく回らなくても何度でも挑戦する姿が見られます。難しいことにも根気よく取り組む力がついてきています。

②すごろく

サイコロを振って出た目の数だけ進むことができるすごろくは、ルールある遊びを楽しむことができることや、数の概念がきちんと理解できている4歳児だからこそ、楽しく遊ぶことができます。

そんな中、Aくんが自分ですごろくを作ろうとしますが、どうやって作ればいいのか分からず、「どうしよう…。」と困っていました。その様子を見ていたBくんがAくん、「紙で描くやり方なら教えてあげるよ。」と声を掛けました。白い紙にマス目のようなものを書いたり、「スタート」「ここにきたらスタートに戻る」などマスごとに指令が書いてあるものも。そうして出来上がった2人だけのすごろくを一緒に楽しむ様子がありました。私がAくん、「Aくんよかったね。Bくんと一緒に面白いすごろくができたね。」と話しかけると、Aくんは、「だってBくんは相棒だからね。」と答えてくれました。クラスの友達をも超えた“相棒”という言葉に思わず、「いいなあ😊」と話すと、「いいでしょ!」と自慢げなAくんと、少し照れながらも嬉しそうに笑うBくんがとってもかわいらしかったです。



③お手玉

「これ(お手玉)はね、たまごちゃんだから、落とすと割れちゃうんだよ。」と話すと、子供たちはそっと優しく触り始めます。右の写真は、お手玉を頭の上に乗せて、歩いている場面です。落ちないように慎重に足を進めていく子や、首から上が一切動かない子など、落とさないように集中する子供たちに、「全集中!お手玉の呼吸!壱ノ型!」と声をかけると、集中力もUPするみたいです(笑)いろいろな遊び方が出来るのが魅力の一つですね。



大縄跳び遊びでは、冬休みにお家の人と一緒に遊んで跳べるようになったことを教えてくれるなつめ組さんたち。12月のころよりもリズムカルに跳べる子が増えていて、びっくりしました。“跳べるようになりたい”という子供たちの思いが、きっと冬休みに縄跳びにチャレンジした姿なんだろうなと思い、嬉しく思います。寒い冬こそ、体を動かして遊んでいきます!

